Interview

# Your Times

vol. 7

2023年12月発行

ちびっこランド福住園

## 鶴岡（つるおか） 麻奈未（まなみ）

2013年9月、信託ホーム株式会社に中途入社した鶴岡麻奈未。保育士資格を持っていたことから、2020年7月にちびっこランド福住園に配属されたが、それまで保育士として働いた経験はなかったという。その不安をどのように乗り越え、日々の業務と向き合ってきたのだろうか。異動して間もない頃の苦労や今後の目標などを聞きながら、その仕事ぶりに迫った。

### 塾講師から異業種への

子どもが好きで、大学時代に保育士資格を取得したという鶴岡。だが、在学中に塾講師の仕事にはまり、卒業後も7年ほど継続していた。

「違う世界も見てみたい」と転身を考え始めたとき、キーパーソンとなったのは、異業種交流会で出会った信託ホームの武田会長だった。転職の意向を打ち明けると、「それなら信託ホームで働かないか」と誘われたのである。異業種で働きたいと考えていた鶴岡にとって、それは渡りに船のオファーだった。

入社後に任されたのは事務職だが、当時、設立の準備を進めていたちびっこランド福住園に関する仕事も引き受けていた。

「保育士として働いてもらえないか」と打診されたのは、産前産後休業を経て復職したばかりの頃。ちびっこランド福住園で人手が足りなくなり、保育士の有資格者である鶴岡に白羽の矢が立ったのである。「実務経験がない私に務まるのかな……」と不安を覚えながらも、「新しい人が来るまでの手伝いなら」と承諾することにした。

それから約4年。ピンチヒッ

# 入社7年目！ 河江さんの今に迫る！

入社7年目となる河江さんに、入社当時から現在の業務に対する姿勢を伺いました。人間関係の築き方の極意や、若手社員へのメッセージは必見です！

信託ホーム
不動産部　営業2課
課長
河江（かわえ） 一成（かずなり）さん

## 入社7年目までの軌跡

### 5〜7年目　課長に昇進、売り上げを大きく伸ばす

課長になったのは5年目。紹介が順調に増えていき、自分にもそれなりの案件数がついてきたタイミングです。さらに大きく売り上げが伸びたのは6年目の2022年。現在、紹介は全体の8〜9割を占め、年間50〜60件持つほどになりました。

### 3〜4年目　紹介が急増、人脈を広げ人間関係を築く

3年目からは、紹介が瞬く間に増えました。紹介元は、プライベートの友人から不動産の買い取り業者など多岐にわたります。プライベートでは、普段会わない人たちとゴルフをしたり、お酒を飲みに行ったりするようにし、様々な人と知り合おうと意識したことが、仕事のチャンスにつながったと感じています。

### 1〜2年目　受け身形の営業を丁寧に行う

入社から現在に至るまで、不動産仲介の営業という仕事の大筋は変わりません。この頃は他社からお借りした物件を信託ホームで掲載し、その反響に対して営業を行うことが業務の主軸でした。

## 7年間を通して学んだこと

### 「人のため」を考え行動すれば「人の輪」につながる

「人のために何ができるか」を本気で考えて仕事をしていけば、そこから広がっていくことが必ずあるということを学びました。対象はお客様だけではありません。たとえば不動産のことではなかったとしても、知り合いが困っているとき、解決に向けて力を貸すことで感謝の言葉をいただけます。将来的にその方の周りで不動産の話があがったとき、自分に話が来るかもしれません。私は中間管理職なので上司もいれば部下もいますが、自分以外のすべての人に対して、より仕事をしやすくするためにはどうしてあげたら良いか、何かやってあげられることはないかと常に考えています。人の輪を大切にすることが、回り回って自分の仕事につながるのではないかと感じています。

## キャリアアップで悩んでいる後輩へ

### とにかく空気が読める人になってください。

きっとすべてにつながってくると思います。ふざけてはいけない場面ではふざけない、皆様が一生懸命仕事をしているところでは騒がない、対面しているお客様が求めているものを感じ取る。正しく空気を読み取ることができれば、結果は絶対についてくるはずです。

## キャリアステップを成功させるための秘訣

### 周りの人を思いやり、力を尽くすこと

特に努力をしていた自覚はないのですが、思い返してみると、人を思って使った時間が努力と言えるのかもしれません。お客様によりわかりやすく伝えるにはどのようにすれば良いのだろうか、どのような情報を与えたら安心していただけるのか、困っている知り合いをどのようにすれば助けてあげられるのか……。そのような行動や意識が、結果的にキャリアステップにつながっていたのだとしたら、私としても非常に嬉しく思います。

会長並びに苦楽を共にした武田常務、社員の皆様本当にありがとうございました。仕事でもプライベートでも、大変ご迷惑をおかけしたとともに、大変助けていただきました。来年からは違う道を歩みますが、いつかは信託ホームに負けない会社を作ります。良き友、良きライバルでいられるよう、必死に頑張っていきます。いつまでも手の届かない信託ホームでいてください。

## HAPPY BIRTHDAY TO YOU！

12月生まれの皆さんをご紹介します！

今月、お誕生日の皆さんをご紹介します！普段関わりの少ないあの人にも、ぜひ声をかけてお祝いしましょう！

12月2日　信託ホーム　総務課　課長
小田（おだ） 佳枝（よしえ）さん

12月8日　ちびっこランド福住園
清原（きよはら） 沙樹（さき）さん

ターのつもりで飛び込んだ鶴岡は今、保育園の中心メンバーになっている。

## 入社2年目の苦労

とはいえ、最初は苦労の連続だった。保育に関する考え方が同僚とかみ合わず、なかなか足並みがそろわなかったのだ。

「信託ホームの事務職だったときは、目の前の仕事をしていればよかったのですが、保育園はほかの先生と協力しないと回っていかないので……。周囲と合わせる大変さを痛感しました」。

保育士になりたてで自信がなかったこともあり、同僚からの些細な反応を気にしては、落ち込んでいたという。

そうした苦しい日々から救ってくれたのが、先輩のベテラン保育士。鶴岡が思い悩んでいると、「大丈夫よ」とやさしく声をかけ、アドバイスをしてくれたという。すでに園を去ってしまったが、ときには友人や家族よりも頼りになる偉大な存在だった。

「厳しい一面もありましたが、退職される際、『あなたはもう立派な保育士だよ』と言ってくださったのが、忘れられません」。

## 初めての担任で自信が生まれて

そんな鶴岡の転機となったのは、入社して3年目に任された、初めてのクラス担任。4歳と5歳のクラスを受け持つことになったのだ。それまで務めていた「副担任」は、一つひとつの業務に集中できたが、担任となるとそうはいかない。クラス全体を見渡して、問題が起きていないか、異変の兆候がないかどうか、常に注意を払う必要があった。

着任にあたり強く意識したのは、視野を広く保って教室を俯瞰すること。その一方で、一人ひとりの子どもの個性と向き合うようにもなった。こうして担任としての最初の1年間を終えたとき、鶴岡は大きな安堵感に包まれるとともに、いつのまにか自信が芽生えていたことに気づく。

「担任として過ごしたこの1年があったから、これからも保育士を続けていこうと前向きな気持ちになれたのだと思います」。

## 子どもたちが安心できる居場所を

保育士としてのモットーは、穏やかな心をキープすること。大勢の子どもを相手にしていると、思いもよらないことが次々と起き、慌てふためく場面も多い。プライベートでも子育ての真最中で、息をつく暇もない毎日だ。それでも、大小さまざまなアクシデントを乗り越えて、気持ちを静めて任務を全うしようと奮闘している。

「ちびっこランド福住園が目指しているのは、子どもたち全員が安心して過ごせる場所。長い時間を過ごすわけですから、子どもたちが無理をせず、素の自分でいられるように気を配ろうと思っています」。

実務経験ゼロからスタートして、何年もかけて保育士としての自信を獲得した鶴岡。高い志を胸に、今日も前向きに突き進んでいく。

# 鶴岡さんへのメッセージ

今号の巻頭を飾った鶴岡さんについて、藤﨑さんに第一印象や思い出などを伺いました！
プロフェッショナルな顔からおちゃめな一面まで、
近いご関係のお二人だからこそ知る素敵なエピソードに、ぜひご注目ください。

ちびっこランド福住園
**藤﨑 絢那（ふじさき じゅんな）さん**

### 鶴岡さんへのメッセージ

いつも面倒をみてくれてありがとうございます。まだ至らない点もあるかと思いますが、これからもよろしくお願いします。大好きです！

### Q 鶴岡さんの第一印象は？

優しさいっぱいでしっかり者という印象でした。今も変わらず、とても優しく愛情溢れる先生だと思っています。

### Q 鶴岡さんとの思い出

食の好みが似ていて、私が「これが好き！食べたい！」と思ったものは、大体まなみ先生も好きなもの。「気が合いますね！」と言うと、いつも嫌な顔をされるのはなぜなのでしょうか（笑）

### Q 鶴岡さんの尊敬しているところ

保護者への対応がプロフェッショナルだなと感じます。相手に合わせて、言葉遣いや雰囲気などを適切に使い分けることができ、保護者の皆さんからの信頼度も高いと思います。そのような姿から、日々の積み重ねの大切さを感じています。

# クリスマスの思い出

ついに今年もクリスマスのシーズンが近づいてきました！皆さんはどのようなひとときを過ごされるのでしょうか？今回は、今野さんと藤田さんにクリスマスにまつわるお話をうかがいました。お子さんとの心温まるほっこりエピソードに、ぜひ癒やされてください。

ちびっこランド福住園
**今野 陽子（こんの ようこ）さん**

### 今サンタさんにお願いするなら……

旅行です！子どもたちもいよいよ自立するため、これからは子ども中心ではなく、自分の時間を楽しみたいと思います。

### 忘れられないクリスマスの思い出

子どもが小さかったころ、プレゼントをカーテンの中に隠したり、クリスマスツリーの下や玄関に置いたりしていました。見つけたときの子どもたちの嬉しそうな顔がかわいくて、毎年「どこにしようかな？」と考えるのが楽しみでした。

ちびっこランド福住園
**藤田 優理恵（ふじた ゆりえ）さん**

### 今サンタさんにお願いするなら……

何も気にせず、趣味を楽しむ時間がほしいと感じています。学生のころから、お菓子作りや手芸が好きで、休みの日には色々と作っていました。子どもたちが生まれてからは、寝かしつけが終わってからの短い時間で何日も作業をしていることが多いので、まとまった時間ができると嬉しく思います。

### 忘れられないクリスマスの思い出

結婚して子どもが生まれてからは、毎年サッポロファクトリーのツリーを見に行っています。ツリーが点灯する時間に行くと、ピカピカ光っているツリーを、子どもたちが目を輝かせながら楽しそうに見ていました。そのような姿を見ると私も嬉しくなり、来年もまた一緒に行きたいと、毎年クリスマスがくることを楽しみにしています。